

Indonesian Week

インドネシア・ウィーク

インドネシアをもっと知るための講演会

(全3回連続講演会)

目覚ましい経済発展をとげるインドネシアは、いま多く人の注目を集めている。この連続講演会では、これまで現地の生活に深く関わってきた3人の研究者が、従来の価値観が大きく変わりつつあるインドネシア人の今に、高齢者ケア、服飾文化、漁業という3つのテーマから迫っていく。

タイトル	講師	月日	時間	会場
インドネシア・ジャワに見る「高齢者ケア」と文化を考える - 医療・福祉従事者国際移動の周縁で -	合地 幸子 氏 東京外国語大学大学院 博士後期課程	7/2 (木)	17:00~ 18:00	聖ヨハネ ホール
身にまとう伝統と現代 -インドネシアのバティックと絨織物 -	小池 誠 桃山学院大学 国際教養学部教授	7/9 (木)	17:00~ 18:00	聖ヨハネ ホール
ヒレを失ったサメが泳ぐ海 - フカヒレの消費拡大がもたらしたもの -	鈴木 隆史 氏 桃山学院大学 兼任講師	7/10 (金)	17:00~ 18:00	2-301

対 象：本学学生、留学生、聴講生、地域の方 どなたでも

参加費：無料・予約不要

この連続講演会は、インドネシア・ウィークの一環として行われます。

インドネシア・ウィークは、インドネシアの言語、音楽、舞踊、食事、その他さまざまな文化について学んだり、体験できる機会です。7月2日から7月12日まで、インドネシアにちなんだたくさんイベントや展示が行われます。お好きなものにお気軽にご参加ください。（事前申込みが必要な催しもあります。詳しくはインドネシアウィークスケジュールをご確認ください。）



〈主 催〉 国際センター、教育支援課、教務課・外国語教育センター、学長室
〈監 修〉 小池誠国際教養学部教授
〈お問合せ〉 国際センターまたは外国語教育センター（聖ヨハネ館2階）
桃山学院大学 和泉市まなび野1-1 Phone: 0725-54-3131(代表)



桃山学院大学
St. Andrew's University

インドネシア・ジャワに見る「高齢者ケア」 と文化を考える — 医療・福祉従事者国際移動の周縁で —

インドネシアで最も高齢化率の高いジョグジャカルタ特別州を中心に uptake、医療・福祉システムやコミュニティー・ベースの支援活動、「高齢者ケア」の実践などの具体的な事例と照らし合わせながら、超高齢社会である日本に暮らす私たちの身近な問題としての「ケア」と「ケア」の価値の文化的意味づけについて理解を深める。



講師 合地 幸子 氏

東京外国語大学大学院博士後期課程

略歴

北里大学を卒業後、医療人材紹介会社・株式会社アンビュランスを設立する。東京外国語大学大学院入学後、2009年より現在まで、インドネシア共和国ジョグジャカルタ特別州を中心に高齢者ケア研究に関する調査を継続中である。おもな業績は、「インドネシア・ジョグジャカルタに見る職業的介護者の誕生と可能性——プラムルクティ (Pramurukti) 研修を通して」『東南アジア—歴史と文化』第44号、pp.101-119、2015。

日時

2015年7月2日 (木) 17:00-18:00

開場 16:45

会場

聖ヨハネホール

参加費

無料・予約不要

対象

本学学生、留学生、聴講生、地域の方 どなたでも

司会

小池 誠 桃山学院大学国際教養学部教授

この連続講演会は、インドネシア・ウィークの一環として行われます。

インドネシア・ウィークは、インドネシアの言語、音楽、舞踊、食事、その他さまざまな文化について学んだり、体験できる機会です。7月2日から7月12日まで、インドネシアにちなんだたくさんのイベントや展示が行われます。お好きなものにお気軽にご参加ください。(事前申込みが必要な催しもあります。詳しくはインドネシアウィークスケジュールをご確認ください。)

<主催> 国際センター、教育支援課、教務課・外国語教育センター、学長室

<監修> 小池誠国際教養学部教授

<お問合せ> 国際センターまたは外国語教育センター (聖ヨハネ館2階)

桃山学院大学 和泉市まなび野1-1 Phone: 0725-54-3131(代表)



桃山学院大学
St. Andrew's University

インドネシアをもっと知るための講演会 第2回 (全3回連続講演会)

身にまとう伝統と現代

-インドネシアのバティックと絣織物-



ジャワのバティックとスンバの絣織物は、インドネシアを代表する伝統的な服飾文化として世界的にも有名である。実物を数多く見てもらいながら、それぞれの製作工程と着用法を紹介した後、それを作り出す地域社会の変化とともに、その役割がどのように変化してきたのか明らかにしたい。

講師 小池 誠 桃山学院大学国際教養学部教授

略歴 東京都立大学大学院博士課程（社会人類学）在籍中の1985年から1988年まで、インドネシアの東ヌサ・トゥンガラ州スンバ島で親族と儀礼に関するフィールドワークを実施した。その後、ジョクジャカルタと西ジャワ州で農村調査を行い、さらに、2011年から台湾で働くインドネシア人労働者の調査も始めている。おもな業績は、『インドネシア——島々に織りこまれた歴史と文化』三修社、1998と『東インドネシアの家社会——スンバの親族と儀礼』晃洋書房、2005。

日時 2015年7月9日（木） 17:00～18:00
開場 16:45

会場 聖ヨハネホール

参加費 無料・予約不要

対象 本学学生、留学生、聴講生、地域の方 どなたでも



この連続講演会は、インドネシア・ウィークの一環として行われます。インドネシア・ウィークは、インドネシアの言語、音楽、舞踊、食事、その他さまざまな文化について学んだり、体験できる機会です。7月2日から7月12日まで、インドネシアにちなんだたくさんのイベントや展示が行われます。お好きなものにお気軽にご参加ください。（事前申込みが必要な催しもあります。詳しくはインドネシアウィークスケジュールをご確認ください。）

<主催> 国際センター、教育支援課、教務課・外国語教育センター、学長室
<監修> 小池誠国際教養学部教授
<お問合せ> 国際センターまたは外国語教育センター（聖ヨハネ館2階）
桃山学院大学 和泉市まなび野1-1 Phone: 0725-54-3131(代表)



桃山学院大学
St. Andrew's University

インドネシアをもっと知るための講演会 第3回 (全3回連続講演会)

ヒシを失ったサメが泳ぐ海

— フカヒシの消費拡大がもたらしたもの —



インドネシアの広大な海域は水産資源の宝庫だ。エビやマグロは日本にも輸出されてきた。乱獲や養殖池の拡大による環境破壊は日本でも大きな議論を呼んだ。一方日本ではあまり馴染みのないフカヒシやナマコなどの特殊海産物はエビやマグロよりもずっと昔から中国市場へ輸出され、漁民たちの暮らしを支えてきた。ところがフカヒシを目的としたサメ漁業が盛んになり、ヒシを切取られたサメが海に棄てられている。香港や中国のレストランではフカヒシ料理がメニューから消えている。今インドネシアの海で何が起きているのか。サメとフカヒシの切っても切れない深いお話をしていきます。

講師 鈴木 隆史 氏 桃山学院大学 兼任講師

略歴 1985年から1991年までインドネシアのボゴール農科大学に留学。西ジャワ州インドラマユの漁村で調査を行う。その後エビ養殖、伝統的資源管理（サシ）などについて研究を行ってきた。著書に『フカヒシも空を飛ぶ』梨の木舎 1994、松野明久編著『インドネシアのポピュラーカルチャー』めこん、1995など

日時 2015年7月10日 (金)
17:00~18:00 開場 16:45

会場 2-301

参加費 無料・予約不要

対象 本学学生、留学生、聴講生、地域の方 どなたでも

司会 小池 誠 桃山学院大学国際教養学部教授



この連続講演会は、インドネシア・ウィークの一環として行われます。

インドネシア・ウィークは、インドネシアの言語、音楽、舞踊、食事、その他さまざまな文化について学んだり、体験できる機会です。7月2日から7月12日まで、インドネシアにちなんだたくさんのイベントや展示が行われます。好きなものにお気軽にご参加ください。(事前申込みが必要な催しもあります。詳しくはインドネシアウィークスケジュールをご確認ください。)



Indonesian Night

Start 17:00, Friday, July 3

@ St. John Hall

インドネシア・ナイト

日時: 7月3日(金) 17:00~

会場: 聖ヨハネホール

- ◆ 留学生によるインドネシアの歌と踊りの披露
- ◆ 民族衣装「ファッション・ショー」
- ◆ 本場で学んだ舞踊家によるジャワとバリの舞踊
- ◆ 留学生と本学学生による歌 など多数開催予定

申込不要です。ご自由にご参加ください。



- ◆ Malay Dance
- ◆ Fashion show
- ◆ Indonesian dances and songs
- ◆ Javanese Dance and Bali Dance
- ◆ Indonesian songs etc...



大坪紀子 氏

[NHK神戸文化センター]「エナジー・オープン・センター」講師。
バリ舞踊教室「ブスパ・メカール」主宰。



富岡三智 氏

大阪大学文学部非常勤講師。インドネシア芸術の
形成(ジャワ舞踊)を講義。

〈主催〉 国際センター、教育支援課、教務課・外国語教育センター、学長室

〈協力〉 在大阪インドネシア共和国総領事館

〈監修〉 小池誠国際教養学部教授

〈お問合せ・申込み〉 国際センター、外国語教育センター (聖ヨハネ館2階)

桃山学院大学 和泉市まなび野1-1 Phone: 0725-54-3131(代表)



桃山学院大学
St. Andrew's University

初めての



インドネシア語講座

インドネシアからの留学生、インドネシアで留学やボランティアの経験のある学生が講師を務めます。旅行に役立つ表現を中心に、発音練習などまったくの初めてからお教えします。

インドネシア語は、マレーシア、シンガポール、ブルネイの公用語として使用されているマレー語と共通のルーツを持つ言葉です。インドネシア、マレーシア、シンガポール、ブルネイに行く予定の方、インドネシアに興味のある方など、一緒に楽しくインドネシア語を体験しましょう。テーマごとのご参加もOKです。

日程	時間	テーマ	会場
7/6 (月)	16:40 ~17:40	あいさつ	J-302
7/7 (火)	16:40 ~17:40	移動	J-302
7/8 (水)	16:40 ~17:40	買い物	J-302
7/9 (木)	16:40 ~17:40	食事	J-302

定員： 各20名

申込： 7/3 (金) 締切 先着順

外国語教育センター (聖ヨハネ館2F)

対象： 本学学生、社会人聴講生、本学教職員 等



このインドネシア語講座は、インドネシア・ウィークの一環として行われます。インドネシア・ウィークは、インドネシアの言語、音楽、舞踊、食事、その他さまざまな文化について学んだり、体験できる機会です。7月2日から7月12日まで、インドネシアにちなんだたくさんのイベントや展示が行われます。好きなものにお気軽にご参加ください。(事前申込みが必要な催しもあります。)

〈お問合せ・申込み〉

外国語教育センター (聖ヨハネ館2階)

〈主催〉

国際センター、教育支援課、教務課・外国語教育センター、学長室、小池国際教養学部教授

〈協力〉

インドネシア人正規留学生・交換留学生、IWC参加学生、インドネシアへの長期留学学生

BALIAL参加予定学生、Language Centre Ambassador学生 他

Indonesian Week

インドネシア

料理教室

Indonesian Cooking Class



日 時 Date & Time	2015年7月10日 (金) 16:40~20:30 (終了予定)	July 10 (Friday) 16:40 - 20:30
場 所 Place	和泉シティプラザ5F 調理実習室 ※外国語教育センターにいったん集合し、一緒に移動します。	Izumi City Plaza Gather at Language Center, St. John Hall at 16:40.
メニュー Menu	ナシゴレン など ※メニュー変更になる場合があります。	Nasi goreng (Fried Rice) Menu may be changed.
定員 Quota	20人(先着順) ※本学学生・大学院生	20 students (first-come, first-served basis)
参加費 Participation Fee	100円 (傷害保険料含む)	100 JPY (including accident insurance)
申込期間 Application Period	6月22日(月) 午前11時から受付開始	From 11:00am, June 22 (Monday)
問い合わせ先・ 申込場所 Application Office	聖ヨハネ館2階外国語教育センター ※窓口での受付のみ	Language Center, 2F, St. John Hall

このインドネシア料理調理体験は、インドネシア・ウィークの一環として行われます。インドネシア・ウィークは、インドネシアの言語、音楽、舞踊、食事、その他さまざまな文化について学んだり、体験できる機会です。7月2日から7月12日まで、インドネシアにちなんだたくさんのイベントや展示が行われます。好きなものにお気軽にご参加ください。(事前申込みが必要な催しもあります。)

〈お問合せ・申込み〉 外国語教育センター (聖ヨハネ館2階)

〈主催〉 国際センター、教育支援課、教務課・外国語教育センター、学長室、小池国際教養学部教授

〈協力〉 インドネシア人正規留学生・交換留学生、IWC参加学生、インドネシアへの長期留学学生

BALIAL参加予定学生、Language Centre Ambassador学生 他

Indonesian Week